



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 川田テクノロジー株式会社 上場取引所 東
コード番号 3443 URL <https://www.kawada.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）川田 忠裕
問合せ先責任者 （役職名）常務取締役 （氏名）渡邊 敏 TEL 03-3915-7722
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	83,475	△17.3	4,335	△48.8	5,206	△49.9	4,114	△49.1
2025年3月期第3四半期	100,984	4.2	8,459	60.7	10,394	69.2	8,087	100.4

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 4,671百万円（△45.5％） 2025年3月期第3四半期 8,574百万円（76.2％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	236.22	—
2025年3月期第3四半期	468.40	467.24

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	165,651	93,581	56.2
2025年3月期	165,511	91,569	55.0

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 93,044百万円 2025年3月期 91,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	100.00	145.00
2026年3月期	—	65.00	—		
2026年3月期（予想）				80.00	145.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	115,000	△13.5	8,100	△16.4	10,700	△15.2	8,400	△24.4
								481.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	17,474,210株	2025年3月期	17,474,210株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	34,356株	2025年3月期	89,873株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	17,416,721株	2025年3月期3Q	17,265,942株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
3. 補足情報	11
受注、販売及び繰越高の状況	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高83,475百万円（前年同期比17.3%減）、営業利益4,335百万円（同48.8%減）、経常利益5,206百万円（同49.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,114百万円（同49.1%減）となりました。受注高につきましては77,358百万円（同13.5%減）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

(鉄構セグメント)

鉄構セグメントの中の鋼製橋梁事業につきましては、受注高は当第3四半期連結会計期間においても新設橋梁の発注が低調に推移する中、新規物件を複数受注することはできませんでしたが、前年同期は高速道路会社発注の大規模工事を受注することができた反動から、前年同期を下回る結果となりました。売上高につきましては豊富な繰越高を抱えつつも、依然として本格稼働までに至っていない工事や遅延している工事が散見されることに加え、工場での製作も低調に推移したことから前年同期を下回りました。損益面におきましても、完成を迎えた複数の大型工事において設計変更を計上しましたが全体としては売上高の減少により、前年同期を下回る結果となりました。

鉄骨事業につきましては、受注高は当第3四半期連結会計期間においても首都圏を中心に受注を積み上げることができたことにより前年同期を上回りました。売上高は、前連結会計年度よりも少ない繰越高でスタートした中、当連結会計年度での受注工事が当年度に寄与するものが少なく、結果として首都圏、関西地区ともプロジェクトの工事量が低調に推移したことで前年同期を大きく下回りました。損益面におきましては、首都圏、関西地区とも大型案件の設計変更が獲得でき、採算性の改善は図れたものの、売上高の減少をカバーするまでには至らず、前年同期を下回りました。

セグメント全体では売上高35,891百万円（前年同期比24.2%減）、営業利益3,765百万円（同19.4%減）と前年同期を大きく下回りました。一方、受注高は36,537百万円（同3.4%増）と前年同期を上回る結果となりました。

(土木セグメント)

土木セグメントにつきましては、受注高は当第3四半期連結会計期間においても主に地方公共団体、高速道路会社発注の工事を複数受注することができたものの、新設事業において満足できる受注量を確保するまでには至らなかったことで18,711百万円（前年同期比30.0%減）と前年同期を大幅に下回る結果となりました。売上高は、前連結会計年度からの豊富な繰越高を抱えてスタートできたものの、新設事業、保全事業での進捗が伸び悩んだことで24,038百万円（同22.9%減）と前年同期を下回りました。また損益面につきましても、売上高の減少に加え、前年同期は新設事業、保全事業の大型工事で設計変更が獲得できたことの反動、並びに原価が先行している大型工事の増加があり営業損失61百万円（前年同期は営業利益2,715百万円）となりました。

(建築セグメント)

建築セグメントにつきましては、受注高は前年同期に大型案件を複数受注できた反動により、8,181百万円（前年同期比41.3%減）と前年同期を大幅に下回る結果となりました。当第3四半期連結会計期間までに受注計上には至っていませんが、複数の工事において既に設計業務に取り掛かっており、今後施工部分の契約に向けて交渉を進めてまいります。売上高は引き続き大型工事の進捗が堅調に推移したことで12,490百万円（同12.9%増）となりました。損益面につきましては、売上高は増加したものの、竣工を迎える大型物件が少なく、最終清算等による原価改善が少なかったことにより営業利益889百万円（同4.1%減）と前年同期を若干下回りました。

(ソリューションセグメント)

ソリューションセグメントにつきましては、受注高は前連結会計年度に引き続き、ソフトウェア販売事業を中心に好調に推移したことにより6,768百万円（前年同期比7.1%増）となりました。売上高は前連結会計年度からの繰越高の増加と当第3四半期連結累計期間での受注増加を受け、自社製品販売事業を中心に順調に伸ばすことができたことで5,715百万円（同0.5%増）となりました。損益面につきましては売上高の増加を受け、売上総利益は増加したものの、知名度向上を目的とした広告宣伝費が膨らみ、販売費及び一般管理費が増加したことで営業利益は2,250百万円（同3.0%減）とやや減少いたしました。

(その他)

その他につきましては、売上高は航空機使用事業では前年同期を上回りましたが、橋梁付属物の販売が低調に推移したことで7,051百万円（前年同期比2.0%減）と前年同期を下回りました。損益面は、航空機使用事業での採算悪化があり、営業損失は129百万円（前年同期は営業損失15百万円）となりました。なお、当該損失につきましては、営業外収益の「補助金収入」によりカバーされています。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における「資産の部」は165,651百万円となり、前連結会計年度末に比べ140百万円（+0.1%）増加しました。これは主に、現金預金が4,397百万円、流動資産のその他（未収入金）が1,072百万円、投資有価証券が410百万円それぞれ増加し、受取手形・完成工事未収入金等が6,231百万円減少したことによるものであります。

また、「負債の部」は72,070百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,872百万円（△2.5%）減少しました。これは主に、短期借入金が4,255百万円増加し、支払手形・工事未払金等が2,878百万円、未払法人税等が1,524百万円、賞与引当金が1,295百万円それぞれ減少したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は93,581百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,012百万円（+2.2%）増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が1,246百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の55.0%から56.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における実績及び最近の業績動向を踏まえ、前回発表（2025年11月11日）の通期連結業績予想を上回る見込みでありますので、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	14,363	18,761
受取手形・完成工事未収入金等	68,169	61,937
未成工事支出金	126	182
その他の棚卸資産	1,406	1,549
その他	3,181	4,428
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	87,241	86,853
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	5,893	5,812
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	2,973	2,948
航空機（純額）	1,379	1,672
土地	14,953	14,936
リース資産（純額）	2,131	1,941
建設仮勘定	45	108
有形固定資産合計	27,375	27,420
無形固定資産	1,236	1,262
投資その他の資産		
投資有価証券	4,074	4,485
関係会社株式	40,757	40,794
繰延税金資産	3,955	3,633
その他	885	1,217
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	49,657	50,115
固定資産合計	78,269	78,798
資産合計	165,511	165,651

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	17,838	14,959
短期借入金	6,345	10,600
1年内返済予定の長期借入金	4,281	4,596
1年内償還予定の社債	1,085	1,150
リース債務	452	459
未払法人税等	1,700	176
未成工事受入金	7,403	9,078
前受収益	2,513	2,585
賞与引当金	2,405	1,110
完成工事補償引当金	66	37
工事損失引当金	2,908	3,876
その他	9,700	6,111
流動負債合計	56,700	54,741
固定負債		
社債	2,065	2,060
長期借入金	9,552	9,750
リース債務	1,917	1,705
繰延税金負債	-	36
再評価に係る繰延税金負債	1,516	1,515
役員退職慰労引当金	663	706
退職給付に係る負債	1,320	1,378
資産除去債務	133	133
負ののれん	34	20
その他	37	23
固定負債合計	17,241	17,329
負債合計	73,942	72,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,374	5,374
資本剰余金	9,922	10,032
利益剰余金	69,665	70,911
自己株式	△169	△65
株主資本合計	84,793	86,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,561	3,323
土地再評価差額金	928	920
為替換算調整勘定	1,962	1,807
退職給付に係る調整累計額	817	739
その他の包括利益累計額合計	6,269	6,790
非支配株主持分	506	537
純資産合計	91,569	93,581
負債純資産合計	165,511	165,651

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	100,984	83,475
売上原価	83,814	69,997
売上総利益	17,170	13,477
販売費及び一般管理費	8,711	9,142
営業利益	8,459	4,335
営業外収益		
受取利息及び配当金	135	121
受取賃貸料	118	122
負ののれん償却額	15	15
持分法による投資利益	2,068	823
補助金収入	340	325
その他	54	209
営業外収益合計	2,734	1,618
営業外費用		
支払利息	321	283
賃貸費用	373	367
その他	103	96
営業外費用合計	798	747
経常利益	10,394	5,206
特別利益		
関係会社株式売却益	50	-
投資有価証券売却益	-	375
補助金収入	-	5
特別利益合計	50	380
特別損失		
固定資産圧縮損	-	5
関係会社株式評価損	-	9
特別損失合計	-	14
税金等調整前四半期純利益	10,444	5,572
法人税、住民税及び事業税	1,762	1,180
法人税等調整額	523	241
法人税等合計	2,286	1,422
四半期純利益	8,158	4,150
非支配株主に帰属する四半期純利益	71	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,087	4,114

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	8,158	4,150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	366
土地再評価差額金	-	△4
退職給付に係る調整額	△68	△47
持分法適用会社に対する持分相当額	473	206
その他の包括利益合計	415	521
四半期包括利益	8,574	4,671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,503	4,635
非支配株主に係る四半期包括利益	71	36

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	ソリューション	計		
売上高							
一時点で移転される財	107	24	69	638	840	4,111	4,951
一定の期間にわたり移転される財	46,426	30,878	10,986	4,849	93,140	2,747	95,888
顧客との契約から生じる収益	46,533	30,902	11,056	5,488	93,980	6,859	100,840
その他の収益	22	34	—	—	56	87	144
外部顧客への売上高	46,556	30,936	11,056	5,488	94,037	6,947	100,984
セグメント間の内部売上高又は振替高	805	225	9	196	1,236	245	1,482
計	47,362	31,161	11,065	5,684	95,274	7,192	102,467
セグメント利益又は損失(△)	4,672	2,715	927	2,320	10,635	△15	10,620

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、航空、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,635
「その他」の区分の損失(△)	△15
セグメント間取引消去	△315
全社費用(注)	△2,363
その他の調整額	517
四半期連結損益計算書の営業利益	8,459

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	ソリューション	計		
売上高							
一時点で移転される財	94	13	42	598	748	3,975	4,724
一定の期間にわたり移転される財	34,730	23,768	12,339	4,973	75,811	2,806	78,617
顧客との契約から生じる収益	34,824	23,782	12,381	5,571	76,559	6,781	83,341
その他の収益	22	13	—	—	35	97	133
外部顧客への売上高	34,847	23,795	12,381	5,571	76,595	6,879	83,475
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,044	243	109	144	1,540	172	1,713
計	35,891	24,038	12,490	5,715	78,136	7,051	85,188
セグメント利益又は損失（△）	3,765	△61	889	2,250	6,843	△129	6,714

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、航空、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,843
「その他」の区分の損失（△）	△129
セグメント間取引消去	△346
全社費用（注）	△2,574
その他の調整額	541
四半期連結損益計算書の営業利益	4,335

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,261百万円	2,273百万円
負ののれんの償却額	△14 "	△14 "

3. 補足情報

受注、販売及び繰越高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	35,345	39.5	36,537	47.2	1,192	3.4
土木	26,722	29.9	18,711	24.2	△8,010	△30.0
建築	13,947	15.6	8,181	10.6	△5,766	△41.3
ソリューション	6,318	7.1	6,768	8.8	449	7.1
その他	7,103	7.9	7,159	9.2	55	0.8
合計	89,437	100.0	77,358	100.0	△12,079	△13.5

(2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	47,362	46.2	35,891	42.1	△11,471	△24.2
土木	31,161	30.4	24,038	28.2	△7,122	△22.9
建築	11,065	10.8	12,490	14.7	1,425	12.9
ソリューション	5,684	5.6	5,715	6.7	31	0.5
その他	7,192	7.0	7,051	8.3	△141	△2.0
合計	102,467	100.0	85,188	100.0	△17,279	△16.9

(3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期 連結会計期間末 (2024年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間末 (2025年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	75,545	53.3	96,019	60.0	20,473	27.1
土木	40,744	28.8	45,372	28.3	4,627	11.4
建築	20,744	14.6	13,478	8.4	△7,265	△35.0
ソリューション	4,131	2.9	4,655	2.9	523	12.7
その他	533	0.4	560	0.4	26	5.0
合計	141,700	100.0	160,087	100.0	18,386	13.0

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。